

Korea <韓国>

JU-HO LEE、科学技術部長官：韓国の保護者は、子どもの教育に対して非常に強い情熱を持っています。これは、21世紀に必要なスキルを子どもたちに学んでほしいと思っているからです。

TITLE: "Strong Performers and Successful Reformers in Education: Korea"

YANG-OK AHN、韓国教員連盟会長：1996年韓国政府は、学校におけるICT教育を強化する計画を導入しました。2005年、授業にICTテクノロジーを普及させ、活用することを始めると同時に、教師の職務の範囲を拡大しました。

テキストスライド：「スマート教育」の目的は、2015年までに韓国の学校カリキュラムをすべてデジタル化することである。統一され標準化された教育から多様かつ創造性に基づく学習へと移行することにより、21世紀の教育の課題に対応すると同時に、誰もが教育にアクセスできるようにすることで、教育の2分化の橋渡しをするように作られたプログラムである。

JEONG-MIN NOH、韓国教育研究情報科学（KERIS）研究員：韓国政府がこの政策を策定した主な理由は、協調的学習と、他者にアイデアをもっとうまく伝えることが可能な21世紀の労働力を生み出すためでした。

教師：今、前回の授業で教えたことを復習しました。それでは、新しい科目に移ります。皆さん、インターネットに接続してください。

JU-HO LEE：韓国の生徒がPISA調査などにおいて、優れた結果を出すことはよく知られています。この優秀な成績の理由の一つとして、大学入学における厳しい競争があり、さらにそれが激化していること挙げられます。保護者は、子どもたちをいい大学に入れたい。そして、入学試験でいい成績を収めるため、生徒は一生懸命勉強するのです。

生徒：3番、重力はどこでも等しい。ボールを上を投げると落ちてきます。これが重力の例です。

INN-WOO PARK：韓国大学教育学部教授：かつての生徒は、「受動的」学習で、大学入試の準備をすることができました。しかし、変化が訪れ、「受動的」学習は試験の準備には適していないことがわかったのです。学習方法は変化を続けており、ICTを使用する機会を

与えられれば、生徒は「能動的」に学習できるようになります。生徒は自立して創造的に考える方法、および私たちの新しい時代の課題を満たす方法を学ぶことができます。これらは、かつて韓国の生徒に欠けていたものです。

教師：円と直線があります。直線は、“a”、“m”、“n”と呼ばれています。この関係から、“d”の値を導くことができます。“d”の値が分かる人、いるかしら？

CHA-MI KWON : Ku II 小学校教師：かつては、優秀な生徒とは、学習したことを記憶できて、テストで正しい答えを書き込める生徒のことを指していました。今後のスキルに必要なのは、記憶力の良さや記憶したことを書き込めることだけではありません。様々な情報源から有益なものを選択し、データを自分のものとして消化し、それを自分のものとして新たに創造できることが必要なのです。デジタル教科書によって、生徒たちはこれを達成できるのです。

テキストスライド：デジタル教科書プロジェクトは、2007年に試験的に開始されました。そして今や、全国130校以上で試行されています。デジタル教科書を2014年に全小学校に、2015年には全中等学校および高等学校に拡大する計画です。

JU-SHIN SONG、Ku II 小学校教師：ここに最初のヒントがあります。ここに2番目のヒントが。急いで、ここに3番目。

JEONG-MIN NOH：最終結果が子どもによる知識の習得になる代わりに、デジタル教科書プロジェクトは、知識の発達における他者との関わりを支援することを目的としています。韓国の子どもたちは、コミュニケーションスキルと他者の理解に欠けることがあります。また、他者の視点を理解することにも問題があります。これは、従来の教育が一方通行で、個別学習に焦点づけていたからです。韓国社会では、知識を習得してテストで正しく回答するだけで十分と考えられていました。デジタル教科書は、これらの能力を生徒に提供する非常に基本的なツールであると同時に、この種類の学習方法を教育で促進するために使うことができる、基本的な要素でもあるのです。

JU-SHING SONG：皆、画面をこっちに向けて。あまり知られていない国を挙げて。

生徒：ウクライナ

TAE-JE SEONG、韓国カリキュラム評価研究所（KICE）所長：これまで私たちが使ってきた教科書は、紙ベースの物でした。しかし、近代的学習では、固定された情報ではなく、

統合された流動的な情報や、その知識を実際に実行する能力、何かを観察して異なる知識を合成する能力が必要になります。私たちは、そのすべてを教える必要があります。紙ベースの教科書には、古い情報が記載されていることがありますが、デジタル教科書では、好きな時に好きなだけ情報を追加したり削除したりできます。

JU-SHIN SONG：静止画のみが記載された従来の教科書とは異なり、デジタル教科書は静止画・動画を載せることができ、子どもにとってより有効な学習が可能になります。デジタル教科書のもう一つの内部機能としては、「メモ」または「ノート」があります。デジタル教科書とペンを使用すると、メモやノートと同様に、蛍光ペン、書き込み、消去ができます。ノートをとるだけではありません。その後、書き込んだ内容を、教師に転送して、見てもらうことができるのです。教師は、すべてを瞬時に見ることもできます。そのため、教師にとって、生徒らがどうしているかを評価する有効な手段でもあります。かつては、生徒が課題を終えた後、教師が回収して、各自が書き込んだ内容を個別に読む必要がありました。

教師：さあ、気を付け。委員長に授業の終わりの挨拶をしてもらいましょう。

生徒：気を付け、礼

全生徒：授業ありがとうございました。

教師：さあ、コンピュータを片付けましょう。

JU-HO LEE：韓国での「スマート教育」の実行における最大の障壁は、財政だと思われます。すべての教室のすべての生徒に、デジタル教科書を提供しなければなりません。韓国の教室には、とても多くの生徒がいます。平均すると、各クラス 30 人の生徒がいます。全生徒にこのデバイスを提供するコストは、非常に高くなります。政府がそのコストを払えるのかは私にはわかりません。全生徒に提供できる安価なデバイスを開発することが、重要な問題になりそうです。

SEOK-CHAN SONG, Seok Jeong 中学校校長：サイバー教育の目的は、生徒にユビキタスな学習環境を提供することで、いつでもどこでも勉強ができるようにすることです。

テキストスライド：2005 年、韓国はサイバー家庭学習システムを発表し、生徒が家庭から相互的に、授業およびカリキュラムの課題にアクセスできるようになった。学校と家庭をつなぐだけでなく、このシステムは、より公平な教材へのアクセスを提供することも目的

としている。

テキストスライド：デジタル教科書イニシアチブとサイバー家庭学習システムイニシアチブは、相互に補完することを意図している。政策決定者が望んでいるのは、これらを組み合わせることによって、子どもたちに個人的な補習を提供する際に保護者がまとまったお金を支払わなければならないというプレッシャーを減らせることである。

オンライン学習：2つの物体の間に摩擦があります。これらは常に、同じ種類の電気を発生しますか？

SEOK-CHAN SONG：サイバー家庭学習は、特に低所得家庭の生徒にとって非常に有用です。豊かな家庭の生徒は、学習センターに個人的に行くことができますが、貧しい家庭の子どもは厳しい時を過ごします。放課後のサイバー家庭学習では、専任の教師がこれらの生徒に割り当てられます。そのため、生徒から質問があれば、またはもっと学習したいと思うなら、支援を得られるのです。この点に関しては、今後もっと大きな進展が見られると思います。

生徒、Seok Jeong 中学校：このウェブサイト質問を投稿すると、他の子どもたちが答えてくれます。先生がコメントをくれたり、教えてくれることもあります。どんなに遠く離れていても一緒に取り組めるので、とても便利です。

オンライン学習：ヨーロッパの国々の環境について見てみましょう。どのように、自然資源を利用していますか。この環境には、どんな産業が適していると思いますか。ヨーロッパでどんな産業が発展しているか、マウスを使って見てみましょう。

JEONG-MIN NOH：放課後、多くの韓国人生徒が、民間の教育センターで授業を受けています。さらに、これらの教育センターにおいて、民間の指導者から個人指導を受けています。政府のデジタル教科書プロジェクトの大きな目的の1つは、この民間教育の出費を抑えることでもあります。質の高い教材をサイバー家庭学習などのデジタル教科書経由で提供することで、放課後の民間学習の費用を減らし、その必要性をなくすことを望んでいます。

CHUL-KYUN KIM、韓国教育研究情報サービス（KERIS）局長：デジタル教科書を使用している集団は、問題解決および自律型学習において、デジタル教科書を使用していない集団に比べて優秀なスキルを示しています。また、経済的に不利な層の生徒の成績は、他の生徒よりも向上しています。さらに、デジタル教科書を使用している生徒は、通常の紙

の教科書を使用している生徒よりも、コンテンツに集中することも分かっています。

テキストスライド：2年にわたり、110の小学校を対象に予備調査が行われた。その結果、デジタル教科書を使用している生徒の学業成績に改善のあとが見られた。

YANG-OK AHN：今後、生徒の新しい需要に応えられない教師は、学校における指導者としての立場に大いなる困難が伴うことになると思われます。そのため、デジタル教科書は、誰もが追うことになる当然のトレンドであると私は信じています。